



平成27年2月号

# 社協ごしよがわら

※社協は社会福祉協議会の略称です。

朝早くから歩行通路の確保



## 高齢者世帯の 除雪活動

助け合う地域づくりに向けて

社協では、住民ボランティアや地区社協の協力で、高齢者や障がい者世帯の除雪に取組み、利用者は厳しい冬も在宅生活を続けられると喜んでいきます。

一方、ボランティア不足により、対応困難な地域もあり、住み慣れた家を離れて暮らす方々もいます。

本会では除雪の課題を皆様の「ご理解」ご協力を得ながら、地域で解決できるよう、除雪ボランティアの発掘に努めてまいります。

(活動内容について)

玄関から道路まで「メートル幅」で生活歩行を確保する雪片付けです。ボランティア登録は随時受付しておりますので、よろしくお願いたします。

※本事業は、みなさまの「厚意」による

「赤い羽根共同募金」が活用されています。



「困っている時はお互いさま」と、長い通路を15分程の手作業で除雪する近所の住民



社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会 ☎037-0033 五所川原市字鎌谷町502-5

電話 0173-34-3494 FAX 0173-35-5855

ホームページ <http://gccsw.net/> メールアドレス [info@gccsw.net](mailto:info@gccsw.net)

◆金木支所・電話 0173-53-2241

◆市浦支所・電話 0173-62-3285

本紙は、赤い羽根共同募金助成金の一部を活用しています。

# 寒中お見舞い申しあげます

五所川原市社会福祉協議会

会長 川村 恒儀

冬の厳しさの中、市民の皆様には、お健やかにご活躍のこととお喜びを申しあげます。

本会の事業経営へのご理解とご支援に対し、厚くお礼申しあげます。

さて、現代の世相を反映した日常生活の変容は、人々の連帯感を希薄化させ、社会の一隅に孤立や無縁を生み出し、既存の制度だけでは対応が困難な複雑・多様化した課題を顕在化させています。

この実情と向き合う本会は、「個人を尊重した自立支援達成の過程は、住み慣れた地域を舞台とする様々な機関の連携協働にある」と考え、地域社会での新たな支え合いの創造が必須であると認識しています。

その一環として、住民参加による強固な事業体制構築や福祉ニーズに対応した細やかで良質な福祉サービスの継続的提供を行い、温かな笑顔が広がる人と人のふれあいに満ちた福祉のまちづくりに取り組んでいます。

このまちに生まれ、このまちで暮らす喜びと安心を、皆様お一人おひとりが実感していただけるような明日を目指し、本年も地域福祉推進のため役員一丸となって鋭意努力してまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

まだまだ厳しい寒さが続きますが皆様のご健勝とご多幸をお祈り申しあげます。

## 地域見守り支え合い事業(仮称・27年度開始予定)

### 町内の課題解決に助成金

地域には、何かしらの援護が必要な方々が住んでいます。近隣の人たちが日常的な見守りでこうした方々の異変を発見した例などもあり、ご近所の人たちによる支え合いが、安心して暮らすキーポイントとして注目されています。

本会では、赤い羽根共同募金を財源にして、この機能の強化を目的とした助成事業を予定しています。

#### 趣 旨

町内会等が、地域住民の連帯意識を高め、住民主体による見守りや支え合い機能の強化に取り組む活動を本会が支援し、地域福祉の向上を図ることを目的とする。

#### 助成対象事業

見守りや訪問活動、緊急連絡体制の確立、集会所や空き家等を利用するサロン活動、除排雪、ゴミ出し、買い物代行、夏祭り等のイベントなど地域の課題解決に特に効果が見込める事業とする。

#### 助成額等

事業の実施に必要な費用(会議費、印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、光熱水費、賃借使用料等)の最大9割までを予算の範囲内で助成する。

平成27年4月1日より随時申込を受付けます。  
(☎34-3494)



# 『笑顔でつながり支える幸せのまち』をめざして!

**ささえあいプラン** 五所川原市地域福祉活動計画より

本会が地域福祉活動をどのように展開していくかを全5回にわたり紹介しています。  
今回は4回目です。

## 基本目標

### ④自分らしく、安心して暮らせるしくみをつくろう

～福祉サービスを利用する人自身の自己選択・決定意思を尊重～

#### 👉 地域生活を支える福祉サービスの推進

- 居宅介護支援事業
- 障がい者相談支援事業(市受託事業)
- 訪問介護事業(介護予防、障がい者自立支援)
- 通所介護事業(介護予防、障がい者自立支援)
- 訪問入浴介護事業(介護予防、障がい者自立支援)
- 障がい者移動支援事業(市受託事業)
- 放課後児童健全育成事業(市受託事業)



介護が必要な状態になっても、自身を尊重し、有する能力に応じて、自立した地域生活が送れるように、必要なサービスの提供や、生活の質の向上を図ります

◀活動計画⇒ 地域住民すべてが個人の尊厳を保持され、社会参加できるようサービス提供や支援に努めます

#### 👉 安心と自立を支援する事業の推進

- 生活福祉資金貸付事業  
(県社協受託事業)
- たすけあい資金貸付事業
- 福祉移送サービス事業
- 福祉用具貸与事業
- 福祉安心電話サービス事業(県社協受託事業)
- お元気ですかコール
- おしゃべり介護事業
- 配食交流サービス事業



- デリバリーヘアカット事業
- 出張サンタクロース事業
- みまもり弁当配達事業

制度の谷間にあるサービスの開発や地域での解決が難しい支援に努め、住民やボランティア、関係機関と協働して取り組みます



◀活動計画⇒ 関係機関等と協働し、各種相談や地域の課題に即した事業を展開します

#### 👉 権利擁護の充実

- 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)
- 成年後見事業
- 財産あんしんサポート事業



福祉サービスの利用援助やそれに伴う日常的な金銭管理、財産の保全などで、判断能力が不十分な方の権利を守る支援体制づくりに取り組みます

◀活動計画⇒ 判断能力が不十分な方に対して、その方の権利を守る適切な事業利用に結びつけます



# ボランティアセンター通信

五所川原市ボランティア・市民活動センター  
☎34-3494 (社協内)

## テーマ “みんなができること” って何だろう

西北五地区ボランティアネットワーク事業

### 講演 岩手県宮古市の復興支援が教えるもの

講師 黒石市ボランティア連絡協議会 中田和道氏

黒石市ボランティア連絡協議会は黒石市の姉妹都市である岩手県宮古市への支援を継続的に行う。その中で、多くのボランティアによる活気が去り、仮設住宅の生活に慣れ始めた住民の「心の空白」を埋めることが被災地のニーズであることに辿り着く。

日時 平成27年3月7日(土) 10:00~13:30

日程 10:00~10:30 「講演」  
10:40~11:30 「パネルディスカッション」  
講師をまじえ、3つの市民団体から活動の意義・内容、問題点等を発表します。

12:00~13:30 「交流会」  
ボランティア・市民団体等のステージ発表や体験コーナーで楽しめます。



昨年は車椅子レクダンスも体験!

場所 五所川原市地域福祉センター

申込 申込不要・入場無料、関心のある方はどなたでも参加できます。  
※ 昼食を500円で提供しますので必要な方はお電話を!

募集 「交流会」での発表者や体験コーナーの参加者を募集しています。  
詳細についてはお問合せ下さい。

主催 五所川原市ボランティア連絡協議会(問合せ 五所川原市社会福祉協議会 34-3494)

## 自立を目標に働く

障がいを持っている方々が、就労収入を得ながら自立した在宅生活に向けて、日々、努力しています。商品が売れ、作業が増えることが、収入の増加となり、自立への希望実現と働く喜び、そして生きがいにつながることでしょ。

今回は就労支援施設「つばき」さんの商品をご紹介します。

安心の日本製  
やさしい香り・灯が特徴です



線香 400円  
ろうそく 300円

選別して丁寧に箱詰め作業を進める

お問い合わせ

就労継続支援B型事業所  
ワークセンターつばき  
TEL0173-33-9057 五所川原市湊川字玉櫛71  
ワークショップわかば  
TEL0173-33-4311 五所川原市柏原62番地3

※掲載のご希望がありましたら本会へお問合せ下さい。



## ひと・ゆめ ⑮

佐藤 聖大 さん  
(五所川原農林高校 三年)

私は小学生の頃からボランティア活動するのが好きで、ゴミ拾いを進んで行ったり、老人ホームやグループホームへ訪問して利用者さんとふれあったり、とても楽しい時間を過ごしてきました。私はボランティアをして、皆さんが喜んで笑顔になってくれることを望んで取り組んでいます。

高校に入学し、最初は運動部に所属していましたが、二年生の時にボランティア部に入部し、それから二年間は、参加できるボランティアには全て参加しました。高校でのボランティアは、活動範囲が広く、地域の子供たちやお年寄り、障がいを持った方たちとの交流が多く、とても楽しかったし、良い経験になりました。

今年で卒業してしまいましたが、これからもずっとボランティア活動に参加していこうと考えています。

取材希望・お知らせ記事も受付中

おらほの町内会 No.10



『家族菜園で町内の交流を図る』

当町内会は、エルムの街の南側に位置し、平成12年から分譲され、現在214戸が居住する新興の町内会であります。

町内会主催の主なイベントは、夏の「夕涼み会」、冬の「新年顔合せ会」で、活き活きとした行事にするため、子供が楽しめるメニューを多くし、親子での参加を促して、参加者の拡大と世代間の交流を図っております。

町内会には、子供部会とシニア部会があり、それぞれが自主的に活動しており、特にシニア部会は毎回趣向を凝らした活動を年10回程度行うとともに、環境維持を積極的に行い、町内会全体の活性化に貢献しています。

特徴的な活動は、平成21年度から隣接する公園予定地を借り受け、子供たちに農業の楽しさと食の大切さを体験させるため、子供部会で野菜作りを始め、25年度からは一区画豊9枚分の家族菜園も造成して、希望する家族に貸出し、農薬も化学肥料も使わない安全な野菜（枝豆・ジャガイモ・さつまいも・スイカなど）を作りながら交流を広げています。

今後とも町内の活力の維持発展に努め、巣立って行った子供たちが、再び家族と一緒に帰ってきて住みたくなるような、魅力ある町内を目指していきます。

はるにれ町町内会

増田 清会長



新たな活動「餅つき会」熟練者の合いの手がもちつきをリード(左) 近所のお母さんに助けられ、熱い餅を一口大にする子供たち(右)

元気悠々

No.37



阿部又イさん (羽野木沢・76歳)

ふれあいハウス杉の子で行っている「冬ぬくぬくクラブ」の一員である阿部又イさん。

21年前にご主人を亡くされてから、りんご畑の仕事を手先ひとつでやってきたスーパーウーマンです。現在は長男夫婦、孫と暮らし、冬は早起きして除雪をしてからみんなを送り出しています。とにかく黙っているのが嫌な性格で、畑仕事、草刈り、料理、掃除等、いろんな事をこなしています。

特に料理はレパートリーが多く、冬ぬくぬくクラブの時にみんなに食べてもらい、喜ぶ笑顔を見るのが楽しみの一つだそうです。

これからも仲間と温泉に行ったり、カラオケ等で交流を深め、楽しい人生を送っていかたいいなあ」と笑顔で話していました。

～自動車市場のこころ～

Blend is Beautiful.

株式会社 奥田

〒037-0612 東京都五所川原市五所川原 240-4  
TEL (0173) 35-1305

**We love car life!**

あなたの車をサポートします。

新車・車検・钣金他  
ご相談ください。

株式会社 五所川原日産自動車商会

〒037-0015 五所川原市大字姥苧字船橋240-4  
TEL (0173) 35-1305





地域歳末たすけあい運動・NHK歳末たすけあい運動

# みんなでささえあう あったかい地域づくり

皆さまからお寄せいただいた募金は、新たな年を迎える時期に支援を必要とする子供達や高齢者等が安心して暮らすことができるよう地域の福祉活動に活用されています。

## サンタがうちんにやってきました!!

12月22日

申込みをいただいた対象者のお宅へクリスマスプレゼントをお届けしました。

サンタとトナカイの登場に子供たちは大興奮!「サンタさんほんとに来た!」と満面の笑みを浮かべていました。

プレゼントありがとう!



## 地域で見守り!

12月1日  
~31日

地区社協では、地域の助け合い・支え合い活動として、一人暮らし高齢者宅への見守り訪問や高齢者昼食会などを行いました。年末の訪問に対象者は「おかげさまで安心して年こせるじゃ」と穏やかな表情を見せていました。

## スツキリ気分で新年を☆

12月5日~24日

寝たきりで生活する高齢者の自宅にケア美容師が出向いて散髪や顔そりを行いました。散髪中は自然と笑みがこぼれ、「来てだけでありがたな〜さっばどすじゃ」と感謝の言葉を述べていました。

散髪で心も軽やかに!



## “安心”をお届け

12月29日

年末を一人で過ごす高齢者等に安心して過ごしていただけるよう、おせち弁当をお届けし、元気な様子を確認してきました。

この雪の中、届けてくれてありがとう!



# ☆サンタからのプレゼントにそれぞれの笑顔☆

## ふれあいクリスマスパーティー

12月6日



今年流行のあの名作...



サンタさん勢揃い!

「今年のプレゼントは何だろう?」「今年はどうな料理かな?」という声が聞かれる中、知的障がい者施設の利用者さんやその家族、ボランティアなど313名が集い、今年もふれあいクリスマスパーティーが盛大に開催されました。

当日はあいにくの天気でしたが、一足早いクリスマスムードに彩られた会場内では、西北五レクリエーション協会(西谷須磨子 会長)による恒例のゲームやレク、各施設からのステージ発表など大いに盛り上がり、アンコールも出るほど。最後のプレゼント交換で見られた、この日一番の笑顔が印象的でした。

また、高校生のボランティアも利用者さんと積極的に交流する姿が見られ、和やかな雰囲気が伝わってきました。利用者さんの笑顔から、それぞれの心に温かいプレゼントが届いたようでした。

※本事業は、共同募金配分金を活用しています。

## 雪かき・雪下ろしやっています

※ご相談はこちらまで 0173-34-7670

担当直通 090-5592-4007

土台上げ・沈下修正・移設工事  
創業百余年 (有)佐々木移設  
五所川原市一ツ谷515-2

各種印刷物・デジタルコンテンツにおける企画・デザイン・制作から製版・印刷・製本

地域文化と価値創造の接点。

## (有)アート印刷

【本社】五所川原市金山字亀ヶ岡46-7 TEL 0173(34)4487・FAX 0173(34)4459  
URL <http://www.artprt.co.jp> E-mail [net@artprt.co.jp](mailto:net@artprt.co.jp)  
【つがる支店】つがる市木造千代町42 TEL 0173(42)1245・FAX 0173(42)8085

# 志りがどろ

**物 品** ☆お菓子=朝日商事(株)  
☆車椅子=(株)民友薬品

**寄付金** ◇おのきかく (30,000円)  
◇金木グラウンド・ゴルフ協会 (20,000円)  
◇旧五所川原東高校同窓会 (13,280円)

(11月1日~12月30日受付分)〈敬称略〉

## アルミ缶・プルタブ等

●五所川原=三浦良子、木村秀子、木村京子、増田武文、関節雄、相川美智江、工藤昇、坪田潔、今由紀子、井口友子、堀内結人、野宮啓子、クリーニングサンみわ、五所川原中央ライオンズクラブ、マルハン五所川原店、うめたふれあいセンター、若葉婦人部、五所川原中央ロータリークラブ、手話サークルひまわり、(株)毛内酒店、なおみ保育園、青山荘デイサービスセンター

●金木=小野元靖、小田桐ヒデ、小山内武夫、今キ子、工藤静子、北川ハツエ、角田正義、小松照男、加藤洋子、桑田アイ、榎引京子、木村弘子、木村みゆき、白川豊之助、白川文雄、高松芳勝、土岐伊久雄、田中光雄、塚本さち子、西村トシエ、野呂みね、福士次雄、原田イヨ、宮崎ミエ、三国谷由次、前田きよ、村上フツエ、三橋キ又、米塚テツ、吉崎孝雄、米塚まり子、金木病院清掃係、津島ふとん店、金木保育園、徳田農園、金木総合支所、友和クラブ、特別養護老人ホームあしの園、グループホーム福祉の里

●市浦=小野由紀子、石岡敦子、山田真緒、山田莉緒、あかしやの会



▲毎年たくさんエコキャップとプルタブを届けてくれるなおみ保育園のみなさん



▲株民友薬品様は地域の皆様に活用して頂きたいと毎年車椅子を寄贈されております

★賛助会員募集中 (10,500円)

## やりすぎ!!



## みんな大すき!

### 4世代 ぼくのかぞく 第26回



東峰小学校 2年生 仙庭寛太くん

ぼくのかぞくは、ぜんぶで9人です。

ぼくのお父さんは、ふくしかんけいのしごとをしています。お父さんが休みの時は、あそびにつれていってくれます。

お母さんは、ほいくえんでおしごとをしています。お母さんのりょうりはとってもおいしいです。

おじいちゃんとおばあちゃんは、りんごのしごとをしています。おつたいをすると、おこづかいをくれるのでうれしいです。

ひいおじいちゃんとひいおばあちゃんはとてもやさしいです。

弟は、4月に1年生になります。いっしょに学校へかようのが楽しみです。

妹は、もうすぐ2さいです。何をしててもかわいいです。

ぼくはみんなが大すきです。

もうすぐ新年度！さまざまな場面で活用してみませんか？

# ふくし出前講座



ふくし出前講座は、町内会やサークル、各種団体、企業、学校などを対象に、皆さまからのご要望に応じて講座を開催しますのでご利用下さい。

◆ 内容は、「ふくし出前講座メニュー」からお選びいただくほか、ご希望のメニューがない場合はご相談ください。



各種会合に出向きます



車椅子体験



高齢者疑似体験



障がいのある方とのふれあい

- ◎ 料金は？ ☞ 基本無料ですが、講師によっては費用負担がある場合があります。
- ◎ 時間帯は？ ☞ 平日の午前9時～午後8時としますが、それ以外の場合はご相談ください。
- ◎ 場所は？ ☞ 市内であればご希望の場所で開催します。
- ◎ 申込は？ ☞ 開催日の1か月前までを原則としますが、それ以外でもご相談ください。

※ 詳しくはホームページをご覧ください。本会までお問い合わせください。(34-3494)



## 市民団体紹介コーナー

## パパ ハグ 子育て支援団体 PAPA HUG

「子どもたちの笑顔のために」

私たち「PAPA HUG」は男性保育士、またその資格を持つ者7名で結成されている子育て支援団体で、男性保育士や父親の目線から子育ての援助、応援、支援をしています。

活動内容はNPO法人子どもネットワーク・すてっぷさん主催の「か」でまつりへ参加、社協と一緒に出張サンタクロースを行う等、子育て支援事業への助っ人や、独自の活動として「子育て世代間交流フリーマーケット&遊びの広場」を行いました。

子育て支援を「やってみたいけど1人では...」と思っている人はいますか？

メンバーを募集します

ですので、一緒に活動したいという方はぜひお声をかけてください。ベテラン男性保育士もいますので、知識を高めたい新人男性保育士の方も大歓迎です。

最後に活動に賛同してくださる梅田保育園様をはじめ、たくさんの方々に感謝申し上げます。これからは地域の子どもたちが笑顔になる活動をしていきたいと思っております。ぜひお願いをください。



お揃いの8889(パパハグ)Tシャツで!

※問合せ先/090-6789-3291(藤林)